

様式第6号その1 (第5条関係)

令和2年4月16日

(あて先) 三鷹市議会議員

会派名 三鷹市議会自由民主党
代表者氏名

奥平裕重

令和元年度政務活動費実績報告書

令和元年5月10日付け31議第161号で交付決定を受けた政務活動費に係る収入、支出等に関する実績を、三鷹市議会政務活動費の交付に関する条例第6条の規定により、下記のとおり報告します。

記

- 1 交付決定を受けた額 1,188,000 円
- 2 調査研究の成果及び収支決算書
別紙のとおり



調査研究の成果及び収支決算書

1 調査研究の成果

別紙のとおり

2 収支決算書

(1) 収入

項 目	金 額 (円)	説 明
1 政務活動費	1,188,000	
2 その他の収入	0	
計	1,188,000	

(2) 支出

項 目	金 額 (円)	説 明
1 研究研修費	421,768	セミナー、講習会受講料、交通費
2 調査旅費		
3 資料作成費		
4 資料購入費	99,318	地方自治関係雑誌購入費等
5 広報費	423,720	会派会報印刷代
6 広聴費		
7 事務費	54,321	事務用品費等
計	999,127	

差引額（収入－支出）

188,873円（残額分 188,873円は市へ返還）

調査研究の成果

三鷹市議会自由民主クラブは4人の議員で構成されており、本年度は、研究研修活動に特に重点を置き、その成果を、一般質問、代表質疑、常任委員会、特別委員会での質疑、予算・決算審査特別委員会での質疑、予算要望、会派広報等の際の参考にした。なお本年度学んだことは、しっかりと研究を深め、次年度以降もその成果を議員活動に生かしていきたい。

○研究研修活動について

自治政策講座、都市計画セミナー、地方議員研究会等の講座を6回受講し、財政、教育、福祉、都市計画等の政策について研究した。財政的に三鷹市は、数少ない不交付団体の一つではあるが、人口構造的に少子高齢化社会の進行することもあり、歳入の確保に努めるとともに、今後より徹底した行財政改革を行い、最小の費用で最大の効果があげられるような福祉施策を実現する必要があるべきことを学んだ。また、都市計画については、都市計画セミナーに参加し「スマート化が進む時代の都市の空間像とマネジメント」について研究したが、三鷹市においても、スマートシティの考え方を大胆に取り入れ、先端技術を取り入れ市民の利便性向上に資することの必要性を学んだ。教育においては、特に家庭教育の充実が必要であり、コミュニティスクールを実践している三鷹市こそ、この点でのさらなる充実を図るべきことが必要であることを学んだ。

○広報活動について

会派の基本的考え方をまとめた広報紙を3月に作成した。なお、戸別配布は4月に行うため、配布費用については来年度の広報費用にて処理することとした。

以上、三鷹市議会自由民主クラブは、本年度は改選後の初年度にあたるため、基本的政策について研究することを中心に活動を行ったが、この成果を生かし次年度以降も最小の費用で最大の効果（市民サービス）が得られる行政の実現に向けて努力していきたい。